

A C C機能のメリット・デメリット

A C C機能を知っていますか？使っていますか？

A C Cとは、運転支援機能の一つで『アダプティブクルーズコントロール』の略で『車間距離制御装置』のことです。

高速走行中、A C Cをセットすれば、アクセルとブレーキの操作なしに設定速度を維持して走ってくれるだけでなく、前車との



車間距離を保って前車に追従。前者がスピードを落とせば、こちらも自動的に速度を調整してくれるから、交通が流れている時もノロノロ運転の時でも運転のストレスが低減します。



ですが、**便利なA C Cも使い方を間違えると危険な場合も**。

あくまでも高速道路での使用が基本となります。前者の動きを検知するセンサーで設定されており、横からの動きには弱い面もあることから、突然の割り込みや他車の動きが激しい一般道ではブレーキ制御が間に合わないケースもあるので、一般道での使用は避けるべきです。

また、高速道路から降りる際は、手前でA C Cを解除する。そして高速道路への合流には、加速が不足し、アクセルによる加速が必要になるため設定をしない。ゲリラ豪雨など視界が悪くなる時は、センサーの検知制度が下がるのでA C Cの使用は控える。

このようなことに気をつければA C Cは、高速走行時、ロングドライブでのドライバーの運転疲労軽減に役立ち、活用したい運転支援機能ですね。

A C Cが付いている車に乗っていてもまだ使ったことがない…という人もいますよね。まずは交通量が比較的少なく、一定速度で流れている高速道路で車間距離を広めの設定で、A C Cの便利さを体験してみてくださいはどうか。



知ってしまうととても便利な運転支援機能になるのではないのでしょうか。



ですがA C Cは、あくまでドライバーの運転を支援する機能なので、**システム任せにはせず**、ドライバーは、いつでもアクセルやブレーキ操作が出来るよう準備しておきましょう。便利な機能を使いつつも、やはり安全運転はドライバーにかかっています。油断せず安全運転をしてくださいね。